

高校生のための熊大 ワクワク連続講義 in やつしろ

【令和6年度サテライトプログラム受講生募集案内】

《開催場所》 桜十字ホールやつしろ（やつしろハーモニーホール）

《受講対象》 高校生および高校教諭等

	時限 (開講時間)	講義タイトル	会場
		担当講師・所属部局	
6/8 (土)	1限目 (10:30-12:00)	騙されることは不注意か？ —詐欺により預貯金を騙し取られた87歳の高齢者と金融機関との関係について— 山根 聡恵 法学部 准教授	市民ホール
	2限目 (13:00-14:30)	ランダムネスと離散数学 佐竹 翔平 情報融合学環 准教授	市民ホール

《担当の先生方へ》

参加申込の際は、各学校毎に所定の申込様式によりお取りまとめのうえ、

5月30日(木)までに熊本大学高大連携推進室へ返信にて電子メールでお申し込みください。

※申込多数の場合、熊本大学で調整させていただくことがあります。

調整を行う場合は、**6月3日(月)**までにご連絡します。

※天候等の都合でやむなく中止する際はホームページ上でお知らせしますので、必ずご確認ください。

やつしろハーモニーホール案内図



【申込・問合せ】

熊本大学高大連携推進室

TEL : 096-342-2712

e-mail : gag-koda@jimu.kumamoto-u.ac.jp

1

6月8日(土) 10:30-12:00

山根 聡恵 法学部 准教授

テーマ：騙されることは不注意か？

—詐欺により預貯金を騙し取られた87歳の高齢者と金融機関との関係について—

内容： 憲法や刑法とは異なり、民法にはトランプゲームの「ババ抜き」のような解決をするためのルールがあります。たとえば、Aが自分の飼っている犬1匹をBとCに別々に売った場合に、この犬がBのものになるのか、Cのものになるのかを決めるためのルールが必要となります。

本講義では、民法の特別法によって、詐欺により預貯金を騙し取られた高齢者と金融機関とのどちらがババを引くのかについて、一緒に考えてみましょう。

講師紹介： 大学で法律学を学んだとき、私にとって民法は憲法や刑法よりも難しい科目だったので、生活に関わる民法を深く知るために、勉強を続けてきました。民法を学ぶと、論理的なものの考え方が身につく上に、法律上のトラブルに巻き込まれた学生たちに法律的な救済方法を伝えて、彼らが弁護士などのプロに相談する手助けをしたりもします。

関連教科・

キーワード： 民法、契約、預貯金者保護法、過失

2

6月8日(土) 13:00-14:30

佐竹 翔平 情報融合学環 准教授

テーマ：ランダムネスと離散数学

内容： ランダムネスはコンピュータ科学や暗号理論の主要な対象の一つであり、このランダムネスをいかにして実現するかという問題は、離散数学、整数論、群論などの様々な数学にまたがる重要な未解決問題として知られています。

本講義では、ランダムネスに関する研究の背景と最先端の課題について、関連する数学の話題に触れながら、ご紹介したいと思います。

講師紹介： 私は、学生時代には理学部数学科ではなく、いわゆる情報系の学部に属しており、そこで数学を学び、研究してきました。数学、ならびにコンピュータ科学や暗号理論などの情報科学にまたがる様々な数学的問題に広く興味を持っています。数学と情報科学の研究で、時には新しい数学的知見・問題を発見しながら、仲間と研究していくことに喜びを感じています。

関連教科・

キーワード： 数学、情報